

労働環境問題検討委員会

委員長：岩城 美穂

1. 活動方針及び活動目標

大切な人材（人財）の定着と支援のために看護業務の標準化、簡略化・効率化について検討する。

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	委員
定例委員会 【マルイト OBP ビル】	看護職の働き方改革に向け、業務の効率化・負担軽減の推進を図り働き続けられる職場環境を整備するため、テーマごとに課題を出し検討した。	全 11 回 (4 月除く)	14 名
【労働環境問題の検討、 対策等 専門家からの情報提供】	・医療提供体制施設整備交付金の紹介 ・ハラスメント対策と相談・支援 ・労働相談事例の考え方 ・人材紹介会社の利用によるトラブルの相談		

3. 活動実績

【活動の概要】

各施設の看護業務の標準化・簡略化・効率化の工夫について看護職が関わる業務別に検討した

1) 会議や委員会のスリム化

- ・委員会の種類が多く、目的に合わせて関連する委員会を集約し、開催頻度の見直しを実施
- ・委員の頻度を少なくすることや、事前準備などで、スリム化が可能

2) 前残業・時間外勤務・夜勤・休憩時間等、時間管理の検討

- ・記録での残業が多く、自動入力デバイス活用や、パスなどの標準看護、またテンプレートなどの使用にて時間外を削減
- ・必要な業務をアウトソーシングすることで時間外削減につながった
- ・前残業は黙認せず、要因を分析し、解決策をスタッフと共に考えていく

3) 入院時看護記録の短縮

- ・入院センターを活用し入院時の情報収集や記録などを担うことで、病棟の負担軽減になる
- ・電子カルテシステムの改修時に看護職の記録類の整理、簡略化、簡素化を図る
- ・電子カルテの使いやすさ、展開の速さが効率につながる

4) ICT やツールの活用と効果

- ・バイタルサイン測定デバイスと電子カルテとの連動が効率的
- ・様々な ICT システムがあるが、それぞれの施設の効率化目的を明確にして、それぞれに合ったシステムを考える

5) 退職に伴うトラブル（有給休暇、退職代行業者等）に対する対応およびトラブル回避

- ・就業規則の整理、修正を行い、トラブルを予防する

4. 課題・その他

- 1) 看護業務の中で標準化・効率化・簡略化できると考えられる項目について検討したが、今後どの業務がどのように時間がかかるのか、どこに無駄があるのか等を明確にしていくことが課題である。
- 2) 看護記録の効率化には AI の導入や電子カルテシステムの改修が効果的であると考えられたが、自施設で活用できるものの見極めが課題となる。
- 3) 看護師確保に紹介会社等の活用が一般的になっているが、現行の就業規則が現状に合っているか、慣例が通用するかを検討する必要がある。